

2020年度事業報告書

学校法人葛谷学園

中和医療専門学校

「2020年度事業報告書」

I 管理部門

(1) 教育環境の向上

1. 施設備品の整備充実

- ①パソコン関連機器（教員用 PC、職員室メール用 PC、授業用ノート PC・プロジェクタの買い換え、研究室用 PC 等の一部買い換え）
- ②遠隔授業用関連機器等（回線数増加：1 回線→3 回線、PC カメラ、ヘッドセット）
- ③解剖模型（日本人骨格模型）購入
- ④水銀血圧計の処分終了
- ⑤柔整科の教室（1 号館 1 階 6 教室）に暗幕を設置 など

2. 経費削減への取り組み

コピー紙等消耗品、光熱費ほか、経費削減に引き続いて努力している。

(2) 新型コロナウイルス感染症に伴う学事日程等の変更及び対応

2020年度は新型コロナウイルス感染症対策として学事日程等の変更を行った。内容は次の通り。

1. 学事日程変更

- ① 文部科学省、愛知県等の要請により2020年4月から5月末まで休校としたこと（2019年度である2020年3月も卒業式と終業式以外は休校とした）。
- ② 入学式と卒業式は時間短縮と出席者を制限して開催したこと。
- ③ 授業時間確保のため学生の夏季休業である8月を盆である中旬の1週以外を授業日としたこと。
- ④ 授業時間確保のため祝日を5日間、授業日としたこと。

2. 感染症対策としてのオンライン授業等の実施時期とその内容

- ① 6月1日から2週間について、3年生は時差通学（9時30分授業開始）による通常対面授業、2年生は完全オンライン授業、1年生は常勤教員の担当授業のみ時差通学による対面授業で実施したこと。
- ② 8月の盆明け1週間について、3年生は通常対面授業、1年生と2年生はオンライン授業を実施したこと。
- ③ 2020年1月の愛知県緊急事態宣言下の特定クラスにおいて、オンライン授業を適宜実施したこと。

3. 6月1日の授業開始に当たり、対策を行った事項。
- ①生徒全員のメールアドレス、オンライン環境の確認
 - ②全教員、講師に対するオンライン授業を行うためのマニュアル作成
 - ③全教員、講師のオンライン授業のための講習
 - ④対面授業（座学、実習）及び学校運営のための「中和衛生マニュアル（現在も順次改訂）」の作成

4. 自宅学習支援金の支給

4月と5月の2か月に及ぶ全校一斉休校の措置にともない、自宅での学習を余儀なくされることで生じる各種費用を支援する目的として、学生一人一律2万円を支給した。

(3) 入学生の確保

1. 入試関連事項

1) 受験料の減免

平成28年度入試から、入学検定料を15,000円に減額した。また学校説明会参加者にはさらに5,000円減額し、受験者の負担を減らし受験しやすくしている。

2) 受験者数と入学者数

総受験者数は、対前年比16名減少の159名であった。科別受験者数は、対前年比で本科は15名減少の118名、専科は増減なしの17名、柔整科Ⅰ部は3名減少の14名、そして柔整科Ⅱ部は2名増加の10名であった。

入学者数は、対前年比で7名減少の117名であった。科別入学者数は、対前年比で本科は増減なしの70名、専科は7名減少の23名、柔整科Ⅰ部は2名減少の15名、そして柔整科Ⅱ部は2名増加の9名であった。

(参考 2019年度：124名、2018年度：121名、2017年度：123名)

3) 指定校推薦

平成24年度入試から専科と柔整科に導入している指定校推薦入試の2020年度の指定校数は87校であった。

(参考：過年度受験者数)

2015 (H27) 年度入試	:	2名 (専0、柔整昼 1、夜1)
2016 (H28) 年度入試	:	6名 (専1、柔整昼 5、夜0)
2017 (H29) 年度入試	:	11名 (専0、柔整昼10、夜1)
2018 (H30) 年度入試	:	6名 (専1、柔整昼 4、夜1)
2019 (H30・R1) 年度入試	:	3名 (専1、柔整昼 2、夜0)
2020 (R2) 年度入試	:	3名 (専1、柔整昼 2、夜0)

4) AO入試の導入

近年の本校への入学志望者の減少及び推薦入試と一般入試に係る受験者数の比率等を鑑みて入試の早期実施を行う必要があるため、2019年度にAO入試を専科と柔整科に導入した。出願者は専科7名、柔整科9名の計16名、入学者は専科5名、柔整科9名の計14名であった。

5) 本科の試験実施時期

本科の試験回数は平成30年度より10月、11月、翌年1月の3回実施している(推薦除く)。2020年度は、2019年度にその時期を社会人ターゲットとして11月、翌年1月、2月に変更したものを踏襲した。

2. 学校案内・募集要項の改訂

志願者数が減少する中で志願者をより多く確保するため、毎年度、記事の一部変更や写真の更新を行い、より良い内容のものとなるように改訂を行ってきたが、各部門で業務を行っていたため成果物に統一性が欠けていたため、2020年度は学校案内・募集要項とホームページとを同一業者に委託し、同じコンセプトの元、全面改定を行った。

3. 学校説明会(オープンキャンパス)の実施

2020年度の学校説明会は新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が発出されていた5月の開催は中止としたが、それ以降については感染症対策をおこなって11回実施した。参加者数は2019年度をやや下回る238名であった。なお開催に際して「心がけたこと」を付記する。

○心がけたこと

- ・感染症対策を周知すること(体調不良者が発生した場合のフロー作成含む)。
- ・非接触実技を開催したこと。
- ・オンラインによる学校説明会を実施したこと。

(参考 2019年度：286名、2018年度：238名、2017年度：234名)

4. 学校訪問・進路相談会

毎年度、6月に約50校に実施している学校訪問は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を勘案して中止とした。感染状況を俯瞰しつつ年次中に企画を試みたが実施できなかった。

また、高校内で行われる進路ガイダンスには13回参加した(主催は3団体)。なお毎年度開催されているイベント会場での大規模進学相談会は新型コロナウイルス感染症により開催されなかった。

5. 広報活動について

ホームページへのアクセス数と資料請求数の増加が認められ、学校説明会参加者数についても一定の評価が確認できるが、入学志願者数の増加が認められたとは言えなかった。なお従来から指摘のある費用対効果については「見える化」ができるように心がけ2021年度の事業計画へ反映させたい。

○広告媒体の現状。

- ・学校案内等を卒業生や関係団体宛に送付。
- ・進学ネットサイト検索の充実（「マイナビ進学」：マイナビ）
- ・進学ネットサイト検索と、資料送付（「進路のミカタ」：マイナビ）
- ・進学ネットサイト検索の充実（「日本の学校」：JS コーポレーション）
- ・高校生にダイレクトメールの送付（JS コーポレーションより、約 2,000 名）。
- ・フェイスブック広告（社会人のアクセス数増加を目的として）
- ・進学ネットサイト検索の充実（「スタディサプリ進路」：リクルート）
- ・進学サイトのトップページにバナー広告提示（マイナビ）。
- ・社会人の医療系への転職希望者に対してダイレクトメールを送付（リクルートより）。
- ・学校説明会参加者及び業者アクセス者のリストをもとにダイレクトメール発送。

（4）生徒への取り組み

1. レクリエーションの実施

コミュニケーション能力を育み、クラス内親睦、学年間の交流そして他学科の生徒とも友好的な人間関係を形成することを目的としている。2020年度は露橋スポーツセンターで開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症により中止とした。

2. 退学者予防対策

近年、本校の退学者が多いことを受け、業者による退学者支援制度を導入した。業者による学生向け質問紙によるタイプ別判定によって退学予備軍の抽出とその対応を図って、学期に臨んだ。

2020年度の退学者数は7名であり、2019年度と比較すると半減した（2019年度は14名）。2020年度の退学者等の動向については文科省及び学校協会のアンケートの回答結果からは全国的に同じ傾向と講評がなされているが、一概に対策が功を奏したといえないため、次年度にむけても検討していく。

3. 学生生活指導

従来から、入学次にオリエンテーションを実施している。2020年度は新型コロナウイルス感染症により学期始まりが実質6月となったが「挨拶指導の徹底」「授業の受け方指導」などに取り組み、入学時のミスマッチ、単位未修得者の低減を図った。

4. 授業アンケートの実施

教員の授業を改善していく資料として役立てるために、本科・専科・柔整科の学生全員を対象に授業アンケートを実施した。実施時期は2019年度は前期・後期の2回としたが2020年度は新型コロナウイルス感染症により物理的に授業時間がとられているため後期末に実施した。また教員へのフィードバックは個人のIDとパスワードを知らせ、各自で閲覧できるようにする。

5. 国家試験合格率100%をめざして

国家試験合格率100%を目指して、課外補修授業や模擬試験等の実施を行った。2020年度国家試験結果は「あま指師国家試験」では90.8%、「はり師きゅう師国家試験」では85.5%、「柔道整復師国家試験」では80.8%であった。年度末に総括を行い、次年度に反映させる。

(5) 就職への取り組み

1. 企業展の開催

毎年度、卒業生の就職先の確保のための企業説明会は、新型コロナウイルス感染症のため春の開催を延期とした。その後感染予防対策の観点から対面式の企業説明会ではなく、資料閲覧と紹介動画を主とした企業展を秋に開催した。開催日は11月25日から27日の3日間、閲覧参加企業は87社であった。多くの学生が参加しており新しい形の取り組みが垣間見えた。

2. 就職相談会の実施

毎年度末の3月に実施している就職相談会は新型コロナウイルス感染症により2019年3月は中止したが、感染対策を周知のうえで2020年3月に2日間実施した。参加者数は対前年比では約2倍の10名ほどであった。

(6) 近隣地域との取り組み

1. 「私学を良くする愛知父母懇談会」との取り組み

毎年度、私学を良くする愛知父母懇談会主催の企画に、本校を会場提供するとともに、二つの企画が毎年度、夏(6月)と秋(11月)に開催される。

但し2020年度は新型コロナ感染症により夏は中止、秋は規模を縮小して開催された。

(参考)

・春：名称：「初夏のつどい」

・秋：名称：「輝良ッ都フェスティバル in 稲沢」：

2. ボランティア活動の取り組み

毎年度、外部からボランティア活動の参加要請（2019年度11件）があり学生と教員が参加しているが2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

II. 教育部門

（あはき科・はき科）

1. 教員研修会

（公社）東洋療法学校協会主催 第44回 教員研修会

日 時：2020年8月27日（木）・28日（金）

場 所：香川県高松市 かがわ国際会議場 サンポートホール高松

主管校：四国医療学園専門学校

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止となりました。

2. 学術大会

（公社）東洋療法学校協会主催 第42回 学術大会

日 時：2020年10月9日（金）

場 所：名古屋市 鶴舞 名古屋市公会堂

主管校：中和医療専門学校

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため2021年10月6日（水）に延期となりました。

3. 実習教育

（1）新型コロナウイルス感染症対策

実習授業については、授業開始当初は、非接触で行っていたが、文部科学省、厚生労働省、愛知県等の規制緩和及び実習授業についての指針等により、

①授業時のペアの固定

②完全マスク着用

③標準的手指洗浄の徹底

④首から上の施術禁止

⑤各授業終了時の清掃及び施術ベッド等の消毒を行った。

（2）専任教員と実習助手の2名体制

実技について2020年度においても、あはきの基礎実習（本科の1年次のあん摩基礎実習・はり基礎実習 H・きゅう基礎実習 H、2年次の指圧基礎実習・はり基礎実習 H-II・マッサージ基礎実習・はり基礎実習 H-III、専科の1年次のはり基礎実習 S-I・き

ゅう基礎実習 S、2年次のはり基礎実習 S-II・はり基礎実習 S-III) と1年次のあん摩応用実習 I について、専任教員と実習助手の2名体制で授業を行い、実技の初動教育を充実させ、本校の特色とし、他校との差別化を図りました。

4. 座学科目の専門性と高度化

2020年度は、新カリキュラムが始まってから3年目にあたり、3年次のリハ概論、運動学Ⅲの科目内容の見直しや医業の倫理を修得させる関係法規、医療概論の充実を行い、より生徒に対して充実したカリキュラム内容を進めています。特に3年生に対しては原則対面で授業を行いました。

5. 国家試験補習講座・模擬試験の充実

(1) 既卒者

国家試験不合格者を対象に国家試験対策補習講座を週当たり2日開講(全30回)、既卒生国家試験合格率向上に努めました。

2020年度は、新型コロナウイルスのため10月より11名の希望者を受け入れ、水曜日・木曜日の週2回実施しました。

(2) 在校生

3年生のうち、1年次・2年次の成績があまり良くない生徒を対象に、国家試験対策補習講座を授業後、時間外に新型コロナウイルスのため10月より火曜日・金曜日の週2回実施して在校生国家試験合格率向上に努めました。

(3) 国家試験模擬試験の実施について

本科・専科3年生と既卒者の国家試験対策補習講座受講者を対象に合計4回実施しました。7月18日(土)では学内で作成した国家試験模擬試験(はき)を、11月14日(土)では(公社)東洋療法学校協会主催の統一模擬試験(はき)を、12月5日(土)では学内で作成した国家試験模擬試験(あはき)を、そして、1月30日(土)では理療科教員連盟作成の国家試験模擬試験(はき)を実施しました。

6. 特別講座の開講(カリキュラム外の講座)

2年生においては1年次科目の成績不良者(仮進級者)を対象に、特別講座A(解剖学・生理学)を週当たり2コマ(後期各10回)ずつ開講し、後期10名の生徒に対して進級や国家試験の合格率の向上に努めました。また、2年次の実技技術練習不足を補うため希望者22名を対象に特別講座C(あん摩・はり・きゅうの基礎実技)を週当たり1コマ(後期10回)開講し実技の補習を実施しました。更に、特別講座Dとして希望者を対象に後期のみで「トリガーポイント」を週当たり1コマ(計10回)実施しました。

3年生に対しては、希望者を対象に特別講座Bとして、後期のみで「美容鍼灸」、「経

絡治療」、「トレーナー活動」及び「筋膜リリース」を週当たり1コマ（計10回）ずつ実施し、卒業後即戦力となる人材育成を図りました。同講座は、10月13日から順次実施されました。

7. (公社) 東洋療法学校協会主催実技審査試験の実施

(1) はりきゅう実技審査

本科・専科3年生に対し、10月31日の土曜日の1日を使い、(公社) 東洋療法学校協会主催はりきゅう実技審査を実施しました。この試験には、(公社) 東洋療法学校協会派遣のはりきゅう実技評価委員が参加し、それぞれ先生方は生徒が行うはり及びきゅうの実技を評価しました。合格者には、後日、学校協会から認定書が発行されました。

(2) あん摩マッサージ指圧実技審査

(公社) 東洋療法学校協会主催で「統一的な実技評価を目指した」あん摩マッサージ指圧実技審査が9月26日(土)の1日を使い、本科3年生の生徒を対象に本校で行われました。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため直接肌に接触するマッサージ審査は行われませんでした。また後日学校協会から認定書が発行されました。

8. 1・2年生学力試験の実施

1年生と2年生全員に対し、3月5日(金)に実施しました。

9. 解剖実習見学

本科・専科2年生を対象に毎年行っていた本見学実習は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。

10. 救命救急講習会の実施

本科・専科2年生を対象に毎年行っていた、稲沢消防署による心肺蘇生法(CRP)・自動体外式除細動器(AED)の使用法を中心とした救命救急講習会(4時間)は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。

11. 臨床実習前施術実技試験の実施

本校では、本・専科2年生の1月から中和医療専門学校附属治療所での臨床実習が始まります。そこで、附属治療所に入室する前に2年生を対象に実技試験と臨床に関する学科試験を行いました。なお、この実技試験は、昨年度より新カリキュラムの中で必須となっております。本科・専科の生徒の共通の課題として、はり実技、きゅう実技及び経穴指示、さらに本科の生徒にはあん摩の実技の試験を、さらに、本科・専科2年生全員に学科試験を、11月7日(土)の1日を使い実施しました。

1 2. 学科・実技合同打合せ会の実施

昨年度までは、学科と実技の打合せ会は別々の日に行っていましたが、共通の伝達事項も多く、また非常勤講師の多くは学科と実技授業の両方を教授しているため、学科・実技のみの会議と共通の会議を、時間をずらして同日に実施することで、時間を効率的に活用でき、更に教員・講師間の共通認識を持つことができるため、今年度から実施されました。開催は年2回〔4月3日（金）と12月23日（水）〕でした。

（柔道整復科）

2020年度は新型コロナウイルス感染症により学事日程に大きな影響があった。このため「中止となったもの」「内容を変更して実施したもの」「学事日程を変更して実施したもの」「学事日程通りに実施したもの」に分類して概説する。

1. 中止となったもの。

①第62回全国柔道整復学校協会主催教員研修会

9月20日（日）・21日（祝月）にグランキューブ大阪において履正社スポーツ医療専門学校が主管校となって開催予定であったもの。

②第53回全国柔道整復学校協会主催柔道大会

8月23日に北海道で全国柔道整復学校協会が主催となって開催予定であったもの。

③第13回愛知県柔道整復専門学校柔道大会

6月14日（日）に愛知県武道館にて愛知県柔道整復師会が主催となって開催予定であったもの。

④校内柔道大会

12月10日（木）に校内4号館の柔道場にて開催予定であったもの。

⑤解剖実習見学

5月19日（火）に岐阜大学医学部解剖学教室においてI部・II部の2年生を該当生徒として実施予定であったもの。

⑥医療施設見学

8月の学生夏季休業中に3年生の中から公募して実施予定であったもの。

⑦専門科目教員会議

4月6日（月）と12月23日（金）に専門科目担当教員による実施予定であったもの。

⑧特別講演等

1) 超音波セミナー

8月26日(水)は3年生、2021年3月3日(水)は2年生に外部講師により開催予定であったもの。

2) 救急救命(AED)講習会

8月25日(火)に2年生を対象にして消防署職員により開催予定であったもの。

3) 1年生対象の講演会

8月26日(水)に1年生を対象に開催予定であったもの。

内容は「柔道整復師の取り扱う外傷について」と題して本校卒業生による実技を交えた講演予定であったもの。

4) 特別講演

8月26日(水)に柔整科全学生を対象にして外部講師による開催予定であったもの。
内容は「脊柱の触診について」と題して実技を交えた講演予定であったもの。

5) 経営セミナー

8月25日(火)に3年生を対象にして外部講師による開催予定であったもの。

6) 業界説明会

2021年3月8日(月)に2年と3年生を対象として業界関係者による開催予定であったもの。

2. 内容を変更して実施したもの

①(公財)柔道整復研修試験財団による認定実技審査(柔道整復実技と柔道実技)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、非接触型として口述を主体に実施した。

内容は次のとおり・

対 象：柔整科3年生(26名)

日 時：2020年11月23日(祝月)

場 所：本校4号館

審査方法：整復実技・・・口述審査

柔道実技・・・礼法、受け身、口述審査

派遣審査員の人数は整復実技1名、柔道実技1名

結 果：受審者26名全員が合格した。

②臨床実習(4単位 180時間)

学外における臨床実習を感染予防の観点から担保できないため中止とした。

代替として国からは弾力的な対応が認められていたため2020年度は学外臨床実習(1単位)を学内臨床実習に代えて実施した。

○2020年度臨床実習

- ・2年生・・・10月から2021年2月（2単位を実施 ※1）
- ・3年生・・・6月から10月（3単位を実施 ※2）

※1：2年生は、2年次3月と翌年3年次8月に学外臨床実習1単位を実施する予定であったが中止としたため、平日に通常学内臨床実習1単位に、学外臨床実習1単位を学内臨床実習1単位に代えて実施し計2単位とした。

※2：3年生は、2年次3月と3年次8月に学外臨床実習1単位を実施する予定であったが中止としたため、3年次平日に通常学内臨床実習2単位に、土曜日に学外臨床実習1単位を学内臨床実習1単位に代えて実施し計3単位実施した。

○従前の臨床実習カリキュラム内容

学内臨床実習と学外臨床実習で構成される。内容は次のとおり。

- ・学内臨床実習（3単位）

対 象：3年生および2年生

期 間：2年生・・・10月から翌年2月（1単位）

3年生・・・4月から10月（2単位）

曜 日：月曜日から金曜日の週2日

（祝日、行事、夏季休業、学年末休業は除く）

- ・学外臨床実習（1単位）

対 象：3年生および2年生

期 間：2年生・・・3月（学年末休業中）

3年生・・・8月（夏季休業中）

実習日数：生徒1人につき3月と8月あわせて8日間予定。

3. 学事日程を変更して実施したもの

①正課外補習（補講）の実施

3年生対象にして5月から翌年2月まで授業後週2回実施予定であったものを後期より実施した。

②卒業生対象補講（国家試験不合格者対象補講）

国家試験不合格者対象の補講を5月から翌年2月まで1日2コマ、週2回実施予定であったものを、後期より実施した（1日2コマ、週2回）

4. 学事日程通り実施したもの.

①国試模擬試験（3年生）、実力試験（2年生）の実施

対 象：3年生及び2年生

時 期：7月4日（土）、12月6（日）

問題数：3年生・・・必修問題50問 一般問題200問 計250問

2年生・・・7月100問 12月150問

※3年生には2月の平日に外部業者作成模擬試験を実施した。

②臨床実習前施術試験等の実施

対 象：柔整科2年生（19名）

時 期：10月5日（月）、8日（木）

時 間：柔2A・・・15:00～16:00

柔2B・・・20:00～20:30

試験内容：学科試験・・・口頭試問

実技試験・・・ROM測定

③実技の複数指導者体制

1年の実技科目（2科目）については生徒の習熟度向上の目的のために教員2名体制で実施した。また柔道実技においても傷害防止と志気向上の目的のために2名以上の指導体制とし、実施した。